

テスラ (TSLA)

【セクター】 EV (電気自動車)

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

テキサス州に本社があり、イーロン・マスクCEOが率いるEV大手です。EVの設計・開発・製造・販売を行うほか、エネルギー発電やストレージシステムも手掛けています。EVは5車種で、中型セダンのモデル3、コンパクトSUVのモデルY、フルサイズセダンのモデルS、中型SUVのモデルX、ピックアップトラックのサイバートラックです。工場は米国カリフォルニア州とテキサス州等のほか、上海とベルリンにあります。2024年12月期の売上高比率は自動車79%、サービス11%、エネルギー発電・ストレージ10%。

【業績】 (単位: 売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、売上高、純利益、EPSは調整後ベース)

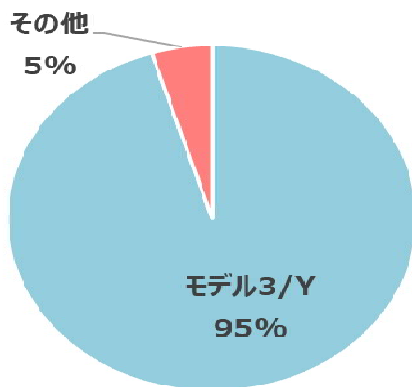
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
23.12期	96,773	10,882	3.12	0.00	19.7	27.9	59.7
24.12期	97,690	8,419	2.42	0.00	22.7	10.5	60.4
25.12期 (予)	94,987	5,597	1.70	0.00	23.9	7.0	-

※EPS: 1株当たり利益、BPS: 1株当たり純資産、ROE: 株主資本利益率

(出所) 会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

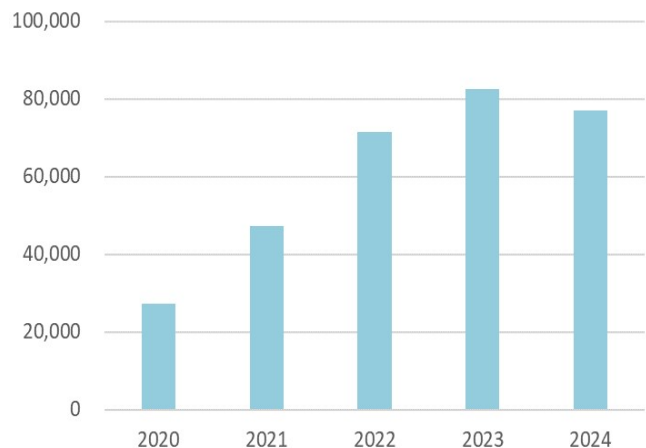
【主要指標】

車種別納車台数比率 (2024年)



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

自動車部門の売上高 (百万ドル)



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

2024年12月期の地域別売上高比率は米国が49%、中国21%、その他30%です。EV市場における競争激化から平均販売価格が低下し、年間ベースでは粗利益率が低下傾向にあります。なお、今後の期待分野の取り込みとして、同社は2024年10月に自動運転タクシー「サイバーキャブ」を公開しました。2025年6月には米国テキサス州オースティンで自動運転サービス（ロボタクシー）を開始しました。なお、イーロン・マスクCEOは当局の認可次第では25年末までにサービス地域を最大10都市圏に拡大できるとの見通しを示しました。このほか、ヒト型ロボット「オプティマス」に関して、将来的に同社企業価値の約8割を創出するようになるとの考えを示しています。

【見通し・注目点】

2025年7-9月期は増収減益でした。売上高はEV販売台数が過去最高になったことなどを背景に前年比12%増の281億ドルとなり市場予想を上回りました。一方、AIや研究開発プロジェクトなどを受けて営業費用が同50%増と急増し、EPSは同31%減の0.50ドルとなり市場予想を下回りました。マーケット注目の「サイバーキャブ」は計画通り26年に量産開始の見通しです。一方、EV向け税額控除が失効したことから、今後のEV販売台数への影響が注視されそうです。

本レポートに関するご注意事項

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号、商品先物取引業者
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般
社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会